

事務事業 No./名 称	□サービス部門 消防-06 消防施設整備事業								
	■支 援 部 門								
主管課	消防総務課	関連課 経営企画課							
分野名	地域安全								
目標 (目標値)	消防署所から遠距離にある地域の防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。								
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考				
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	0							
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	0							
	人員配置数	0.4							
	人件費(千円)	3,328							
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,328							
	市民1人当 りの経費(円)	19							
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)		
		目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性					A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
消防施設整備事業	0千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☒ E
	事業の概要	防災拠点である消防署所の耐震改修を実施し、防火体制の強化を図る													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	耐震診断で、鎌倉消防署深沢出張所の耐震状況を明らかにする必要があった。		
課題解決のための取組	施設の一部(訓練塔)を除き、現状のIs値が目標値を上回ったため、総合的に判断し見送ったもの。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	今後、訓練塔部分の耐震改修についての課題を検討していく必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		訓練塔部分の改修については、諸課題を検討していく必要がある。	↓	課長等名
		③有効性	○			E	消防総務課 柿崎 雅之
		④公平性	○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
消防施設整備事業	主な個別事業	237 深沢出張所耐震改修設計委託	4,000	0	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							